

大学番号：私207

注3

[平成27年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部 スポーツ学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 大阪成蹊学園
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務局 事務部

職名・氏名 シムフチョウ 事務部長 ニシムラツネキ 西村恒樹

電話番号 077-596-8410

（夜間） 077-596-8418

F A X 077-596-8419

e-mail jim@bss.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

スポーツ学部

<スポーツ学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 大阪成蹊学園

(2) 大学名

びわこ成蹊スポーツ大学

(3) 大学の位置

〒520-0503

滋賀県大津市北比良1204番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長 総長	(イシイ シゲル) 石井 茂 (平成25年4月1日)		
学 長	(イイダ ミノル) 飯田 稔 (平成19年4月1日)	(カダ ユキコ) 嘉田 由紀子 (平成26年10月1日)	平成26年10月1日新たに学長として就任したため(27)
学 部 長	(シミズ シロウ) 清水 史郎 (平成24年4月1日)	(トヨダ ノリシゲ) 豊田 則成 (平成26年11月1日)	平成26年11月1日新たに学部長として就任したため(27)
学 科 長	(シミズ シロウ) 清水 史郎 (平成27年4月1日)	(トヨダ ノリシゲ) 豊田 則成 (平成27年4月1日)	平成27年4月1日新たに学科長として就任したため(27)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
スポーツ学部 スポーツ学科 学士(スポーツ学)	4年	280人	年次人	1,120人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	平成27年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	280人 (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	1.25倍	— 倍	
志願者数	922 (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]			
受験者数	912 (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]			
合格者数	485 (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]			
B 入学者数	350 (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.25	—	—	—	—	—	—	—			

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 350	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	
2年次	/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	
3年次			[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	
4年次			[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	
計			[-] (-) 350	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	350 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
合 計	350 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<スポーツ学部 スポーツ学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
教 養 科 目	こころとからだ	栄養と健康	1前		2				1				
		コミュニケーションと身体表現	1・2後		2			1					兼1
		現代社会と人間関係	1・2後		2								兼1
		人間の心理と行動	2・3前		2								
	生活と社会	法と生活(日本国憲法を含む)	1前	2									兼1
		産業と経済	1・2後		2								兼1
		地域福祉とボランティア	2・3前		2								兼1
		高齢化と家族	2・3前		2								兼1
	一般教養科目	身近な自然科学	1前後		2		1						兼1
		国際化と文化	2・3後		2								兼1
		地球の歴史と琵琶湖	2・3前後		2		1						兼1
		陶芸と地域伝統文化	2・3前後		2								兼1
	教育と情報	教育学概論	1・2前後		2						1		
		現代社会とジャーナリズム	1・2前後		2		1						兼1
		情報と統計	1・2前後		2								
		情報発信と情報倫理	2・3前後		2				+	+			届出時に准教授1名で記載していたが、正しくは講師1名 担当教員(講師1名) 就任辞退により、後任未定(27)
	初年次教育	教養演習A	1前	2			6	4	4	4			
		教養演習B	1前	2			6	4	4	4			
		教養演習C	1後	2			6	4	4	4			
		小計(19科目)	—	8	30		6	4	4	4			兼8
	外国語科目	英語Ⅰ	1通	4									兼3 兼2
		英語Ⅱ	2通	4				1					兼1
		英語Ⅲ	3・4前		2			1					
英語Ⅳ		3・4後		2			1						
ドイツ語		2・3前		2								兼1	
中国語		2・3前後		2								兼1	
韓国語		2・3前後		2								兼1	
スペイン語		2・3後		2								兼1	
	小計(8科目)	—	8	12			1					兼8 兼7	
情報目処理	情報処理論	1前後	2									兼1	
	コンピューターリテラシーⅠ	1・2前後		2								兼2 兼4	
	コンピューターリテラシーⅡ	2・3前		2								兼1	
	コンピューターリテラシーⅢ	2・3後		2								兼1	
	小計(4科目)	—	2	6								兼4 兼3	

専 門 科 目	講 義 ・ 実 習 科 目	スポーツ学入門(総論)	1前	2			2 4					教育課程の充実のため、担当教員追加(27)	
		スポーツ生理学概論	1後	2			1						
		スポーツマネジメント概論	1後 1前	2					1				教育効果を考慮し、開講時期の変更(27)
		スポーツ社会学概論	1後	2					1				
		スポーツ心理学概論	1前	2				1					
		水中運動法	1前後	2				1		1			届出時は教授1名が記入漏れ ※実技
		体カトレーニング法	1前	2						1			※実技
		身体構造と機能	1前	2				4		1			担当教員就任辞退により、単独講義に変更(27)
		スポーツ学入門(各論)	1後	4				16 48	14 43	4 6	5 4		兼任 届出時では兼任の記入漏れ 担当教員就任辞退により、後任未定及び担当教員変更(27)
		救急処置法	1前	2				4		1			担当教員就任辞退により1名で担当(27)
		スポーツ哲学概論	2後	2				1					
		フレッシュマンキャンプ	1前	1				2		2			集中
		雪上実習	1後	1				2		2			集中
		水辺実習	2前	1				2		2			集中
		インターンシップ実習	3通	2				14 46	13 42	4 6	4 3		集中 担当教員就任辞退により、後任未定及び担当教員変更(27)
		スポーツ学研究法	2後	2				1 4			5		届出時では教授4名、講師5名と記載していたが、正しくは教授1名
		スポーツ指導論	2前	2				4			1		届出時では教授1名と記載していたが、正しくは講師1名
		障害者スポーツ概論	2前		2							1	兼2 ※実技
		テーピング・マッサージ法	1後		2						1		
		健康教育・管理論	2後		2			1					
		スポーツ医学概論	2後		2			4		1			届出時では教授1名と記載していたが、正しくは准教授1名
		スポーツ栄養学概論	2後		2						1		
		身体発育発達論	2前後		2			1					
		レジャー・レクリエーション論	2前		2						1		
		衛生・公衆衛生学	2前		2			1					
		体育・スポーツ史	2前		2			2 4					届出時では教授2名と記載していたが、正しくは教授2名
		運動学概論	2前		2			1					
		スポーツ政策論	2前		2			1					
		学校保健	3後		2			1					
		体力測定と評価	3後		2			1		1			兼任
		武道論	3前		2			4					担当教員就任辞退により、後任未定(27)
		舞踊論	2後		2						1		
		スポーツ法学	2後		2								兼1
		スポーツボランティア実習	2・3・4通		1			1					
		スポーツと安全管理	2前		2			1					
		スポーツと環境	2前		2			1					
		スポーツ生理学	2前		2			1					
		スポーツバイオメカニクス	2前		2						1		
		スポーツ統計学	2前		2							1	
		海外研修実習	2・3・4前後		1							1	集中
小計(40科目)	-	33	44			17 48	14 43	4 6	5 4		兼3		

専門科目	実技科目	A群	器械運動	1前後		1				1		兼1	届出時では兼任講師1名の記入漏れ		
			陸上競技	1前後		1		1	1						
		B群	バスケットボール	1前後		1			1	1					
			バレーボール	1前後		1			1						
			サッカー	1前後		1					1				
			テニス	1前		1						1			
			ソフトボール	2前		1					1		+		届出時では講師1名記入漏れ 担当教員(講師1名)就任辞退により、後任未定(27)
		C群	柔道	2前後		1							+		担当教員就任辞退により、後任未定(27)
			剣道	2前後		1								兼1	
			ダンス	2前後		1					1				
D群	エアロビックダンスⅠ	2前後		1					1						
	レクリエーションスポーツ	2前後		1				1							
	体づくり運動・健康体操	2前後		1				1							
	障害者スポーツ	2前後		1						1					
	エアロビックエクササイズ	2・3後		1						1					
	スノースポーツ	2・3後		1					1						
	マリンスポーツ	2・3前		1					1						
	小計(17科目)	—			17			6	6	2	2	兼2 兼4	届出時の修正による集計の修正(兼2)		
コース専門科目	野 外 ス ポ ー ツ	野外スポーツ基礎演習	2通		4			2	2					コース必修	
		野外スポーツ演習	3通		4			2	2					コース必修	
		野外スポーツ専門実習Ⅰ	3前		1			1	2	+				コース必修 集中 届出時では准教授1名と記載していたが、正しくは教授1名、准教授2名	
		野外スポーツ専門実習Ⅱ	3後		1			1	2	+				コース必修 集中 届出時では准教授1名と記載していたが、正しくは教授1名、准教授2名	
		キャンプカウンセリング	2・3・4後		2					1					
		キャンプマネジメント	3前		2			1							
		野外スポーツ理論と実践	3・4後		2			2	1	2				届出時では教授2名、准教授2名と記載していたが、正しくは准教授1名	
		キャンプ指導法	3前		1			2	2					集中	
		野外スポーツ指導法	3・4後		2			1							
		野外スポーツ特別講義	2・3・4前		2			1							
野外スポーツプログラム	2・3・4前		2					1							
	小計(11科目)	—		23			2	2							
コース専門科目	地 域 ス ポ ー ツ	地域スポーツ基礎演習	2通		4			4	1		1			コース必修	
		地域スポーツ演習	3通		4			4	1		1			コース必修	
		地域スポーツ専門実習Ⅰ	3後		1			4	1		1			コース必修	
		地域スポーツ専門実習Ⅱ	3後		1			4	1		1			コース必修	
		地域社会とスポーツ	2・3・4後		2					1					
		地域スポーツの理論と実際	2・3・4前		2			3				1			
		生涯スポーツと地域保健	2・3・4前		2			1							
		こどものあそびと運動	2・3・4後		2			1							
		障害者スポーツ指導法	2・3・4前		2							1			
		中高齢者と生涯スポーツ	3・4後		2			1							
	小計(10科目)	—		22			4	1		1					
コース専門科目	学 校 ス ポ ー ツ	学校スポーツ基礎演習	2通		4			2	2	+	2	+		コース必修 担当教員就任辞退により、後任担当教員変更(27)	
		学校スポーツ演習	3通		4			2	2	+	2	+		コース必修 担当教員就任辞退により、後任担当教員変更(27)	
		学校スポーツ専門実習Ⅰ	3前		1			2	2	+	2	+		コース必修 担当教員就任辞退により、後任担当教員変更(27)	
		学校スポーツ専門実習Ⅱ	3後		1			2	2	+	2	+		コース必修 集中 担当教員就任辞退により、後任担当教員変更(27)	
		保健体育科教育課程論	3・4後		2			1							
		学校スポーツの理論と実際	2・3・4前		2					+	2	+		担当教員就任辞退により、後任担当教員変更(27)	
		学校スポーツ指導法Ⅰ	2・3・4前		2					1		1			
		学校スポーツ指導法Ⅱ	2・3・4後		2			1				1			
		保健体育授業分析評価法	3・4前		2						+	1			担当教員就任辞退により、後任担当教員変更(27)
		教材開発演習Ⅰ	2・3・4前		2					2	+	2	+		担当教員就任辞退により、後任担当教員変更(27)
教材開発演習Ⅱ	2・3・4前		2			1	+	4		1			届出時では准教授1名と記載していたが、正しくは教授1名		
	小計(11科目)	—		24			2	2	+	2	+				

コース専門科目	トレーニング・健康	トレーニング・健康基礎演習	2通		4		1 2	3	1		コース必修 担当教員就任辞退により、後任未定(27)	
		トレーニング・健康演習	3通		4		1 2	3	1		コース必修 担当教員就任辞退により、後任未定(27)	
		身体開発専門実習Ⅰ	3前		1		1		1		コース必修 追加	
		身体開発専門実習Ⅱ	3後		1		4	1			コース必修 追加 担当教員就任辞退により、後任未定(27)	
		スポーツリハビリテーション	2・3・4前		2				1			
		運動処方と運動療法	2・3・4後		2		4					担当教員就任辞退により、後任未定(27)
		スポーツ生理学Ⅱ	3・4後		2		4					担当教員就任辞退により、後任未定(27)
		実践スポーツ栄養学	2・3・4後		2					1		
		身体開発システム論	3後		2		1					
		身体開発特別講義	3・4後		2				1			
		スポーツコンディショニング論	3・4前		2				1			
		スポーツコンディショニング特別講義	3・4後		2				1			
	小計(12科目)	-		26		1 2	3	1				
	コーチング	コーチング基礎演習	2通		4		3 4	1	2			コース必修 担当教員就任辞退により、後任未定(27)
		コーチング演習	3通		4		3 4	1	2			コース必修 担当教員就任辞退により、後任未定(27)
		コーチング専門実習Ⅰ	3前		1		3 4	1	2			コース必修 集中 担当教員就任辞退により、後任未定(27)
		コーチング専門実習Ⅱ	3後		1		3 4	1	2			コース必修 集中 担当教員就任辞退により、後任未定(27)
		コーチング理論Ⅰ	2・3・4前		2		1	1				
		コーチング理論Ⅱ	2・3・4前		2		1 2		1			届出時では教授2名と記載していたが、正しくは教授1名
		サッカーコーチング理論と実践	2・3・4前		2		1					
		バレーボールコーチング理論と実践	2・3・4後		2		1					
		バスケットボールコーチング理論と実践	2・3・4前		2				1			
		テニスコーチング理論と実践	2・3・4後		2					1		
		陸上競技コーチング理論と実践	2・3・4前		2		1					
		柔道コーチング理論と実践	2・3・4後		2		4					担当教員就任辞退により、後任未定(27)
	水泳コーチング理論と実践	2・3・4前		2					1			
	トップアスリート論	2・3・4後		2		3 4	1	2			担当教員就任辞退により、後任未定(27)	
	コーチング理論Ⅲ	2・3・4後		2		1		1				
	小計(15科目)	-		32		3 4	1	2				
	スポーツビジネス	スポーツビジネス基礎演習	2通		4		1	2 4	4	1		コース必修 担当教員就任辞退により、担当教員変更(27)
		スポーツビジネス演習	3通		4		1	2 4	4	1		コース必修 担当教員就任辞退により、担当教員変更(27)
		スポーツビジネス専門実習Ⅰ	3後		1			1	4			コース必修 担当教員就任辞退により、担当教員変更(27)
		スポーツビジネス専門実習Ⅱ	3後		1			4		1		コース必修 届出時では准教授1名と記載していたが、正しくは助教1名
スポーツマーケティング		2・3・4前		2			1					
スポーツ・メディア論		2・3・4前		2		1		4			追加 担当教員就任辞退により、単独講義に変更(27)	
スポーツ施設イベントマネジメント		2・3・4後		2					1			
スポーツ産業論		2・3・4後		2					1			
スポーツスポンサーシップ		2・3・4前		2				1				
スポーツマネジメント特別講義		2・3・4前		2				1		1	教育課程充実のため、担当教員追加(27)	
小計(10科目)	-		22		1	2 4	4	1				
スポーツ情報戦略	スポーツ情報戦略基礎演習	2通		4		1	2	1			コース必修	
	スポーツ情報戦略演習	3通		4		1	2	1			コース必修	
	スポーツ情報戦略専門実習Ⅰ	3後		1		1	2	1			コース必修	
	スポーツ情報戦略専門実習Ⅱ	3後		1		1	2	1			コース必修	
	身体操作法	2・3・4前		2				2			追加	
	パフォーマンス分析論	2・3・4後		2				1				
	スポーツメンタルサポート論	2・3・4後		2		1						
	スポーツ指導支援	2・3・4前		2					1			
	ゲーム分析法	2・3・4後		2					1			
	スポーツ動作分析法	2・3・4前		2				1				
小計(10科目)	-		22		1	2	1					

卒業研究	卒業研究	4通	4			14 46	13 42	4 6	4 3			担当教員就任辞退により、後任未 定(27)	
キャリア 関連 科目	エアロビックダンスⅡ	3・4前			1		1						
	エアロビックダンスⅢ	3・4後			1		1						
	レクリエーション指導法	3・4後			1	1							
	アスレティックトレーナー特別講座(1)	1・2前			2		1						
	アスレティックトレーナー特別講座(2)	4前			2							兼1	
	アスレティックトレーナー実習Ⅰ	3前			1							兼1	
	アスレティックトレーナー実習Ⅱ	3前			1			1					
	アスレティックトレーナー実習Ⅲ	4後			1			1				兼+	
	健康運動指導士特別講座(1)	4前			2	1	1					届出時では兼任講師1名と記載し ていたが、正しくは准教授1名	
	健康運動指導士特別講座(2)	4後			2	1	1						
	キャリア英語	3・4前			2								兼1
	キャリア英語Ⅱ	3・4前			2								兼1
	キャリア英語Ⅲ	3・4後			2								兼1
	教職入門	1前			2								兼1
	教師論	3後			2		1						
	教育学概論	1・2前、後			2						1		
	教育心理学	2前			2		1						
	教育制度論	3前			2								兼1
	生涯教育論	2後			2								兼1
	教育課程論	2前			2						1		
	保健体育科教育法Ⅰ(体育)	2前			2				+		1		担当教員就任辞退により、後任担 当教員変更のため(27)
	保健体育科教育法Ⅱ(保健)	3前			2			1					
	保健体育科教育法Ⅲ	3後			2	1							
	総合学習教材研究	3後			2			1					
	道徳の指導法	2前			2						1		
	特別活動論	3後			2								兼1
	教育方法論	2後			2						1		
	生徒・進路指導論	2前			2		1						
	学校カウンセリング	3後			2		1						
	教育相談	3後			2								兼1
	教育実習指導	3・4通			1		1						
	教育実習Ⅰ(実習期間:3週間以上)	4前			4		1						
	教育実習Ⅱ(実習期間2週間)	4前			2		1						
	教職実践演習(中・高)	4後			2		1						
	福祉と介護	2前			2								兼1
	特別支援教育論	2後			2								兼1
小計(36科目)		-			67	5	4 3	+	2 4			兼3 届出時の修正による集計の修正(道教授4) 担当教員就任辞退により、後任担当教員変更 のため(27)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目		科目		
25	143	36	204	25	143	36	204	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、「」内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
 【該当なし】

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		
	校舎敷地	50,097.54㎡	0㎡	0㎡	50,097.54㎡		
	運動場用地	79,482.00㎡	0㎡	0㎡	79,482.00㎡		
	小 計	129,579.54㎡	0㎡	0㎡	129,579.54㎡		
	そ の 他	4,755.28㎡	0㎡	0㎡	4,755.28㎡		
	合 計	134,334.82㎡	0㎡	0㎡	134,334.82㎡		
(2) 校舎	専 用	12,268.03㎡	0㎡	0㎡	0㎡		
	(12,268.03㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)		
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	12室	9室	7室	2室 (補助職員 1 人)	1室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			
	スポーツ学部 スポーツ学科			41 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕			
	スポーツ学部 スポーツ学科	48,001 [1,971] (50,975 [2,023])	888 [141] (916 [151])	590 [590] (677 [677])	1,511 (1,624)	0 (0)	0 (0)
	計	48,001 [1,971] (50,975 [2,023])	888 [141] (916 [151])	590 [590] (677 [677])	1,511 (1,624)	0 (0)	0 (0)
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	1,637.08㎡		145席		46,194冊		
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	6,337.97㎡		屋内水泳場1棟 トラック1面 サッカー競技場1面		テニスコート8.5面 野球場1面		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	600千円	600千円	図書購入費	— 千円	7,721千円
	共 同 研 究 費 等	4,500千円	4,500千円	設備購入費	— 千円	3,000千円	3,000千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		1,450千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	— 千円	— 千円
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、寄附金、雑収入 等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	びわこ成蹊スポーツ大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
スポーツ学部										
スポーツ学科	4	280	3年次-	280	学士(スポーツ学)	1.25	平成27年度	滋賀県大津市北比良1204番地		
生涯スポーツ学科	4	-	-	-	学士(スポーツ学)	-	平成15年度	同上		平成27年より学生募集停止
競技スポーツ学科	4	-	-	-	学士(スポーツ学)	-	平成15年度	同上		平成27年より学生募集停止
大学の名称	びわこ成蹊スポーツ大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
スポーツ学研究科										
スポーツ学専攻	2	10	-	20	修士(スポーツ学)	0.95	平成24年度	滋賀県大津市北比良1204番地		
大学の名称	大阪成蹊大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
マネジメント学部										
マネジメント学科	4	180	3年次-	820	学士(経営学)	0.94	平成15年度			
芸術学部										
造形芸術学科	4	177	3年次-	277	学士(芸術)	0.82	平成18年度	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号		
情報デザイン学科	4	-	-	-	学士(芸術)	-				平成27年より学生募集停止
環境デザイン学科	4	-	-	-	学士(芸術)	-				平成27年より学生募集停止
教育学部										
教育学科	4	120	3年次10	220	学士(教育学)	1.10	平成26年度			

大学の名称		大阪成蹊短期大学						備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
総合生活学科	2年	220人	—	440人	短期大学士 (生活デザイン) (食物) (栄養)	1.24倍	昭和26年度	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号	
幼児教育学科	2	240	—	480	短期大学士 (幼児教育)	1.05	昭和31年度		
観光学科	2	90	—	180	短期大学士 (観光)	1.05	昭和42年度		
グローバルコミュニケーション学科	2	50	—	100	短期大学士 (グローバルコミュニケーション)	0.80	平成15年度		
経営会計学科	2	60	—	120	短期大学士 (経営会計)	0.92	平成15年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<スポーツ学部 スポーツ学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					専	教授	カダ ユキコ 嘉田 由紀子	平成27年4月	スポーツ学入門Ⅰ(総論)※	担当教員追加(27)
専	教授	シズミ ショウ 清水 史郎	平成27年4月	スポーツ学入門Ⅰ(総論) スポーツ学入門Ⅱ(各論) スポーツ学研究法 フレッシュマンキャンプ 雪上実習 水辺実習 スポーツ インターンシップ実習 野外スポーツ基礎演習 キャンプ指導法 野外スポーツ特別講義 野外スポーツ演習 卒業研究					スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ フレッシュマンキャンプ 雪上実習 水辺実習 スポーツ インターンシップ実習 野外スポーツ基礎演習 キャンプ指導法 野外スポーツ特別講義 野外スポーツ演習 卒業研究	担当者授業科目の変更(27) 届出時 氏名の記載忘れ 担当者授業科目の変更(27)
専	教授	アライ ヒロシ 新井 博	平成27年4月	スポーツ哲学概論 体育・スポーツ史 インターンシップ実習 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 地域スポーツの理論と実際 地域スポーツ演習 卒業研究					スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ スポーツ哲学概論 体育・スポーツ史 インターンシップ実習 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 地域スポーツの理論と実際 地域スポーツ演習 卒業研究	届出時に記載忘れ
専	教授	ナカノ トモヒロ 中野 友博	平成27年4月	フレッシュマンキャンプ 雪上実習 水辺実習 インターンシップ実習 野外スポーツ基礎演習 野外スポーツ専門実習Ⅰ 野外スポーツ専門実習Ⅱ キャンプマネジメント キャンプ指導法 野外スポーツ演習 卒業研究 レクリエーション指導法					フレッシュマンキャンプ 雪上実習 水辺実習 スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ インターンシップ実習 野外スポーツ基礎演習 野外スポーツ専門実習Ⅰ 野外スポーツ専門実習Ⅱ キャンプマネジメント キャンプ指導法 野外スポーツ演習 卒業研究 レクリエーション指導法	届出時に記載忘れ
専	教授	カネコ マサオ 金森 雅夫	平成27年4月	衛生・公衆衛生学 インターンシップ実習 体力測定と評価※ スポーツと安全管理 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 地域スポーツの理論と実際 生涯スポーツと地域保健 地域スポーツ演習 卒業研究 健康運動指導士特別講座(1) 健康運動指導士特別講座(2)					スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ 衛生・公衆衛生学 インターンシップ実習 体力測定と評価※ スポーツと安全管理 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 地域スポーツの理論と実際 生涯スポーツと地域保健 地域スポーツ演習 卒業研究 健康運動指導士特別講座(1) 健康運動指導士特別講座(2)	届出時に記載忘れ
専	教授	シバタ トシカズ 柴田 俊和	平成27年4月	運動学概論 インターンシップ実習 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 保健体育科教育課程論 学校スポーツ指導法Ⅱ 教材開発演習Ⅱ 学校スポーツ演習 卒業研究 教職入門					スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ 運動学概論 インターンシップ実習 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 保健体育科教育課程論 学校スポーツ指導法Ⅱ 教材開発演習Ⅱ 学校スポーツ演習 卒業研究 教師論	届出時に記載忘れ 届出時に科目名の記載ミス
専	教授	シンタケ コキヲ 新宅 幸憲	平成27年4月	身体発育発達論 インターンシップ実習 レクリエーションスポーツ 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 地域スポーツの理論と実際 こどものあそびと運動 地域スポーツ演習 卒業研究					教養演習A 教養演習B 教養演習C スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ 身体発育発達論 インターンシップ実習 レクリエーションスポーツ 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 地域スポーツの理論と実際 こどものあそびと運動 地域スポーツ演習 卒業研究	届出時に記載忘れ
専	教授	スギイ キョウコ 菅井 京子	平成27年4月	体育・スポーツ史 体づくり運動・健康体操 インターンシップ実習 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 中高齢者と生涯スポーツ 地域スポーツ演習 卒業研究					教養演習A 教養演習B 教養演習C スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ 体育・スポーツ史 体づくり運動・健康体操 インターンシップ実習 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 中高齢者と生涯スポーツ 地域スポーツ演習 卒業研究	届出時に記載忘れ

専	教授	ナガノ シンジ 中園 伸二	平成27年4月	健康教育・管理論 学校保健 インターンシップ実習 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 学校スポーツ演習 卒業研究 保健体育科教育法Ⅲ				教養演習A 教養演習B 教養演習C スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ 健康教育・管理論 学校保健 インターンシップ実習 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 学校スポーツ演習 卒業研究 保健体育科教育法Ⅲ	届出時に記載され
専	教授	トリハ ケンジ 鳥羽 賢二	平成27年4月	スポーツ政策論 バレーボール インターンシップ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ コーチング理論Ⅱ バレーボールコーチング理論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究				スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ スポーツ政策論 バレーボール インターンシップ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ コーチング理論Ⅱ バレーボールコーチング理論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究	届出時に記載され
専	教授	ワシジ コウジ 若吉 浩二	平成27年4月	スポーツ生理学概論 水中運動法 スポーツ生理学Ⅰ インターンシップ実習 トレーニング・健康基礎演習 身体開発専門実習Ⅰ※ 身体開発システム論 トレーニング・健康演習 卒業研究				スポーツ生理学概論 スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ 水中運動法 スポーツ生理学Ⅰ インターンシップ実習 トレーニング・健康基礎演習 身体開発専門実習Ⅰ※ 身体開発システム論 トレーニング・健康演習 卒業研究	届出時に記載され
専	教授	ゴトウ ヒデフミ 後藤 英文	平成27年4月	現代社会とジャーナリズム インターンシップ実習 スポーツビジネス基礎演習 スポーツ・メディア論※ スポーツビジネス演習 卒業研究				教養演習A 教養演習B 教養演習C スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ 現代社会とジャーナリズム インターンシップ実習 スポーツビジネス基礎演習 スポーツ・メディア論※ スポーツビジネス演習 卒業研究	届出時に記載され 単独講義に変更(27)
専	教授	シバタ トシロ 渋谷 俊浩	平成27年4月	陸上競技 インターンシップ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ コーチング理論Ⅰ 陸上競技コーチング理論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究				陸上競技 スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ インターンシップ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ コーチング理論Ⅰ 陸上競技コーチング理論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究	届出時に記載され
専	教授	タカハシ マサキ 高橋 正行	平成27年4月	身体構造と機能※ 救急処置法 インターンシップ実習 トレーニング・健康基礎演習 運動処方と運動療法 身体開発専門実習Ⅱ※ スポーツ生理学Ⅱ トレーニング・健康演習 卒業研究		後任未定		身体構造と機能※ スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ 救急処置法 インターンシップ実習 トレーニング・健康基礎演習 運動処方と運動療法 身体開発専門実習Ⅱ※ スポーツ生理学Ⅱ トレーニング・健康演習 卒業研究	届出時に記載され 平成27年3月 高橋正行 一身上の都合で就任辞退 平成27年10月から専任教員採用予定で 公募中。(27)
専	教授	トコガ マサキ 豊田 則成	平成27年4月	スポーツ心理学概論 スポーツボランティア実習 インターンシップ実習 スポーツ情報戦略基礎演習 スポーツ情報戦略専門実習Ⅰ スポーツ情報戦略専門実習Ⅱ スポーツメンタルサポート論 スポーツ情報戦略演習 卒業研究				スポーツ心理学概論 スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ スポーツボランティア実習 インターンシップ実習 スポーツ情報戦略基礎演習 スポーツ情報戦略専門実習Ⅰ スポーツ情報戦略専門実習Ⅱ スポーツメンタルサポート論 スポーツ情報戦略演習 卒業研究 スポーツ学入門Ⅰ(総論)※ スポーツ学研究法	届出時に記載され 担当授業科目の追加(27) 担当授業科目の追加(27)
専	教授	ムラタ マサオ 村田 正夫	平成27年4月	武道論 柔道 インターンシップ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ 柔道コーチング論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究		後任未定		スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ 武道論 柔道 インターンシップ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ 柔道コーチング論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究	届出時に記載され 平成27年3月 村田正夫 大阪成蹊大学へ転任 平成27年10月から専任教員採用予定で 公募中。(27)
専	教授	シヅギ キヨヒロ 望月 聡	平成27年4月	サッカー インターンシップ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ サッカーコーチング理論と実践 トップアスリート論 コーチング理論Ⅲ コーチング演習 卒業研究				スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ サッカー インターンシップ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ サッカーコーチング理論と実践 トップアスリート論 コーチング理論Ⅲ コーチング演習 卒業研究	届出時に記載され
専	教授	タカヤギ マサト 高柳 真人	平成27年4月	教育心理学 生徒・進路指導論 学校カウンセリング				教養演習A 教養演習B 教養演習C スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ 教育心理学 生徒・進路指導論 学校カウンセリング 教育実習指導 教育実習Ⅰ(実習期間:3週間以上) 教育実習Ⅱ(実習期間2週間) 教職実践演習(中・高)	届出時に記載され 届出時に記載され

専	教授	ニノ マコ 西野 麻知子	平成27年4月	身近な自然科学 地球の歴史と琵琶湖 スポーツと環境				身近な自然科学 地球の歴史と琵琶湖 教養演習A 教養演習B 教養演習C スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ スポーツと環境	届出時に記載され
専	准教授	カホリ タケシ 黒澤 毅	平成27年4月	フレッシュマンキャンプ 雪上実習 水辺実習 マリンスポーツ インターンシップ実習 野外スポーツ基礎演習 野外スポーツ専門実習Ⅰ 野外スポーツ専門実習Ⅱ キャンプカウンセリング 野外スポーツ理論と実践 キャンプ指導法 野外スポーツ演習 卒業研究				スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ フレッシュマンキャンプ 雪上実習 水辺実習 マリンスポーツ インターンシップ実習 野外スポーツ基礎演習 野外スポーツ専門実習Ⅰ 野外スポーツ専門実習Ⅱ キャンプカウンセリング 野外スポーツ理論と実践 キャンプ指導法 野外スポーツ演習 卒業研究	届出時に記載され
専	准教授	チウ ケイ 佐藤 馨	平成27年4月	スポーツ社会学概論 レジャー・レクリエーション論 インターンシップ実習 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 地域社会とスポーツ 地域スポーツ演習 卒業研究				教養演習A 教養演習B 教養演習C スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ スポーツ社会学概論 レジャー・レクリエーション論 インターンシップ実習 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 地域社会とスポーツ 地域スポーツ演習 卒業研究	届出時に記載され
専	准教授	タカガリ ナホミ 谷川 尚己	平成27年4月	インターンシップ実習 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 学校スポーツ指導法Ⅰ 教材開発演習Ⅰ 学校スポーツ演習 卒業研究 保健体育科教育法Ⅱ(保健) 総合学習教材研究				教養演習A 教養演習B 教養演習C スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ インターンシップ実習 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 学校スポーツ指導法Ⅰ 教材開発演習Ⅰ 学校スポーツ演習 卒業研究 保健体育科教育法Ⅱ(保健) 総合学習教材研究	届出時に記載され
専	准教授	ハヤシ(イト) アキ 林(井戸) 綾子	平成27年4月	フレッシュマンキャンプ 雪上実習 水辺実習 インターンシップ実習 野外スポーツ基礎演習 野外スポーツ専門実習Ⅰ 野外スポーツ専門実習Ⅱ キャンプ指導法 野外スポーツプログラム 野外スポーツ演習 卒業研究				フレッシュマンキャンプ 雪上実習 水辺実習 スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ インターンシップ実習 野外スポーツ基礎演習 野外スポーツ専門実習Ⅰ 野外スポーツ専門実習Ⅱ キャンプ指導法 野外スポーツプログラム 野外スポーツ演習 卒業研究	届出時に記載され
専	准教授	モリガ(サイト) ミコ 森川(齋藤) 実江 子	平成27年4月	コミュニケーションと身体表現 舞踊論 インターンシップ実習 ダンス 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 教材開発演習Ⅰ 学校スポーツ演習 卒業研究				コミュニケーションと身体表現 舞踊論 教養演習A 教養演習B 教養演習C スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ インターンシップ実習 ダンス 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 教材開発演習Ⅰ 学校スポーツ演習 卒業研究	届出時に記載され
専	准教授	コマツ タケシ 小松 猛	平成27年4月	身体構造と機能※ スポーツ医学概論 インターンシップ実習 トレーニング・健康基礎演習 スポーツリハビリテーション 身体開発特別講義 トレーニング・健康演習 卒業研究 アスレティックトレーナー実習Ⅱ				身体構造と機能 スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ スポーツ医学概論 インターンシップ実習 トレーニング・健康基礎演習 スポーツリハビリテーション 身体開発特別講義 トレーニング・健康演習 卒業研究 アスレティックトレーナー実習Ⅱ	単独講義に変更(27) 届出時に記載され
専	准教授	シガ ミツル 志賀 充	平成27年4月	インターンシップ実習 陸上競技 スポーツ情報戦略基礎演習 スポーツ情報専門実習Ⅰ スポーツ情報専門実習Ⅱ 身体操作法※ パフォーマンス分析論 スポーツ情報戦略演習 卒業研究				教養演習A 教養演習B 教養演習C スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ インターンシップ実習 陸上競技 スポーツ情報戦略基礎演習 スポーツ情報専門実習Ⅰ スポーツ情報専門実習Ⅱ 身体操作法※ パフォーマンス分析論 スポーツ情報戦略演習 卒業研究	届出時に記載され
専	准教授	カハシ ケイゾウ 高橋 佳三	平成27年4月	スポーツバイオメカニクス インターンシップ実習 ソフトボール スポーツ情報戦略基礎演習 スポーツ情報専門実習Ⅰ スポーツ情報専門実習Ⅱ 身体操作法※ スポーツ動作分析法 スポーツ情報戦略演習 卒業研究				スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ スポーツバイオメカニクス インターンシップ実習 ソフトボール スポーツ情報戦略基礎演習 スポーツ情報専門実習Ⅰ スポーツ情報専門実習Ⅱ 身体操作法※ スポーツ動作分析法 スポーツ情報戦略演習 卒業研究	届出時に記載され

専	准教授	ツカダ フミコ 佃 文子	平成27年4月	体力トレーニング法 テーピングマッサージ法 救急処置法 インターンシップ実習 トレーニング・健康基礎演習 スポーツコンディショニング論 スポーツコンディショニング特別講義 トレーニング・健康演習 卒業研究 アスレティックトレーナー特別講座(1) アスレティックトレーナー実習Ⅲ				スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ 体力トレーニング法 テーピングマッサージ法 救急処置法 インターンシップ実習 トレーニング・健康基礎演習 スポーツコンディショニング論 スポーツコンディショニング特別講義 トレーニング・健康演習 卒業研究 アスレティックトレーナー特別講座(1) アスレティックトレーナー実習Ⅲ	届出時に記載され	
専	准教授	フジマツ (タイマ) マコ 藤松(當麻) 典子	平成27年4月	インターンシップ実習 体力測定と評価※ エアロビックダンスⅠ エアロビックエクササイズ トレーニング・健康基礎演習 身体開発専門実習Ⅱ※ トレーニング・健康演習 卒業研究 エアロビックダンスⅡ エアロビックダンスⅢ 健康運動指導士特別講座(1) 健康運動指導士特別講座(2)				スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ インターンシップ実習 体力測定と評価※ エアロビックダンスⅠ エアロビックエクササイズ トレーニング・健康基礎演習 身体開発専門実習Ⅱ※ トレーニング・健康演習 卒業研究 エアロビックダンスⅡ エアロビックダンスⅢ 健康運動指導士特別講座(1) 健康運動指導士特別講座(2)	届出時に記載され	
専	准教授	ヨシカワ フミト 吉川 文人	平成27年4月	インターンシップ実習 バスケットボール コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ コーチング理論Ⅰ バスケットボールコーチング論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究				スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ インターンシップ実習 バスケットボール コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ コーチング理論Ⅰ バスケットボールコーチング論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究	届出時に記載され	
専	准教授	ヨシダ マサユキ 吉田 政幸	平成27年4月	スポーツマネジメント概論 海外研修実習 インターンシップ実習 スポーツビジネス基礎演習 スポーツマーケティング スポーツボンサージュ スポーツビジネス演習 卒業研究				スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ 海外研修実習 インターンシップ実習 スポーツビジネス基礎演習 スポーツマーケティング スポーツボンサージュ スポーツビジネス演習 卒業研究	届出時に記載され	
専	准教授	スティーブ ユゴビッチ Steve Jugovic	平成27年4月	英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ				英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ スポーツ学入門Ⅱ(各論)※	届出時に記載され	
専	講師	シメシマ (ナガタ) エイコ 南島(長田) 永衣子	平成27年4月	インターンシップ実習 ソフトボール 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 学校スポーツの理論と実際 保健体育授業分析評価法 教材開発演習Ⅰ 学校スポーツ演習 卒業研究 保健体育科教育Ⅰ(体育)	専	助教	オニシ ユウジ 大西 祐司	平成27年4月	スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ インターンシップ実習 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 学校スポーツの理論と実際 保健体育授業分析評価法 教材開発演習Ⅰ 学校スポーツ演習 卒業研究 保健体育科教育Ⅰ(体育)	届出時に記載され 平成26年9月 一身上の都合により就任辞退のため担当者変更 (27) 「ソフトボール」は、他に担当教員が1名いるため支障はない (27)
専	講師	カカミ (ヨシタ) チェ 片上(吉田) 千恵	平成27年4月	情報発信と情報倫理 インターンシップ実習 スポーツビジネス基礎演習 スポーツビジネス専門実習Ⅰ スポーツ・メディア論※ スポーツビジネス演習 卒業研究	専	准教授	ヤマト タツヲ 山本 達三	平成27年4月	スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ インターンシップ実習 スポーツビジネス基礎演習 スポーツビジネス専門実習Ⅰ スポーツマネジメント特別講義 スポーツビジネス演習 卒業研究	届出時に記載され 平成27年3月 片上 千恵 一身上の都合により就任辞退のため担当者変更 (27)
専	講師	キタムラ テツ 北村 哲	平成27年4月	スポーツ指導論 テニス インターンシップ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ コーチング理論Ⅱ テニスコーチング理論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究			後任未定	情報発信と情報倫理	平成28年4月から採用予定で公募中(27)	
専	講師	シキ カケル 白木 孝尚	平成27年4月	インターンシップ実習 水中運動法 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ 水泳コーチング理論と実践 トップアスリート論 コーチング理論Ⅲ コーチング演習 卒業研究				教養演習A 教養演習B 教養演習C スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ スポーツ指導論 テニス インターンシップ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ コーチング理論Ⅱ テニスコーチング理論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究	届出時に記載され	
専	講師	ツケガ (クロイ) サトコ 武田(黒岩) 哲子	平成27年4月	栄養と健康 スポーツ栄養学概論 インターンシップ実習 トレーニング・健康基礎演習 身体開発専門実習Ⅰ※ 実践スポーツ栄養学 トレーニング・健康演習 卒業研究				栄養と健康 教養演習A 教養演習B 教養演習C スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ スポーツ栄養学概論 インターンシップ実習 トレーニング・健康基礎演習 身体開発専門実習Ⅰ※ 実践スポーツ栄養学 トレーニング・健康演習 卒業研究	届出時に記載され	

専	講師	ヤマダ ヒロシ 山田 庸	平成27年4月	スポーツ統計学 サッカー インターシップ実習 スポーツ情報戦略基礎演習 スポーツ情報戦略専門実習 I スポーツ情報戦略専門実習 II スポーツ指導支援 ゲーム分析法 スポーツ情報戦略演習 卒業研究					教養演習 A 教養演習 B 教養演習 C スポーツ学入門 II (各論) ※ スポーツ統計学 サッカー インターシップ実習 スポーツ情報戦略基礎演習 スポーツ情報戦略専門実習 I スポーツ情報戦略専門実習 II スポーツ指導支援 ゲーム分析法 スポーツ情報戦略演習 卒業研究	届出時に記載され
専	助教	カネノ リリア 仲宗根 森教	平成27年4月	器械運動 インターシップ実習 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習 I 学校スポーツ専門実習 II 学校スポーツの理論と実際 学校スポーツ指導法 I 学校スポーツ指導法 II 教材開発演習 I 教材開発演習 II 学校スポーツ演習 卒業研究					器械運動 教養演習 A 教養演習 B 教養演習 C スポーツ学入門 II (各論) ※ インターシップ実習 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習 I 学校スポーツ専門実習 II 学校スポーツの理論と実際 学校スポーツ指導法 I 学校スポーツ指導法 II 教材開発演習 I 教材開発演習 II 学校スポーツ演習 卒業研究	届出時に記載され
専	助教	カニシ マサヒロ 河西 正博	平成27年4月	インターシップ実習 障害者スポーツ概論 障害者スポーツ 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習 I 地域スポーツ専門実習 II 地域スポーツの理論と実際 障害者スポーツ指導法 地域スポーツ演習 卒業研究					教養演習 A 教養演習 B 教養演習 C スポーツ学入門 II (各論) ※ インターシップ実習 障害者スポーツ概論 障害者スポーツ 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習 I 地域スポーツ専門実習 II 地域スポーツの理論と実際 障害者スポーツ指導法 地域スポーツ演習 卒業研究	届出時に記載され
専	助教	ヨシケ ヒデアキ 吉倉 秀和	平成27年4月	インターシップ実習 スポーツビジネス基礎演習 スポーツビジネス専門実習 II スポーツ施設イベントマネジメント スポーツ産業論 スポーツマネジメント特別講義 スポーツビジネス演習 卒業研究					教養演習 A 教養演習 B 教養演習 C スポーツ学入門 II (各論) ※ インターシップ実習 スポーツビジネス基礎演習 スポーツビジネス専門実習 II スポーツ施設イベントマネジメント スポーツ産業論 スポーツマネジメント特別講義 スポーツビジネス演習 卒業研究	届出時に記載され
専	助教	タケイ テラウチ 武井 哲郎	平成27年4月	教育学概論 道徳の指導法 教育方法論 教育課程論					教養演習 A 教養演習 B 教養演習 C スポーツ学入門 II (各論) ※ 教育学概論 道徳の指導法 教育方法論 教育課程論	届出時に記載され
兼任	講師	イダ コキチ 伊田 行秀	平成27年4月	現代社会と人間関係 人間の心理と行動						
兼任	講師	オダ タケシ 織田 健志	平成27年4月	法と生活						
兼任	講師	コヤマ トシユキ 児山 俊行	平成27年4月	産業と経済						
兼任	講師	ウシタニ マサト 牛谷 正人	平成28年4月	地域福祉とボランティア						
兼任	講師	ライカイ ジョンボルドー ティボ RAJKAI ZSOMBOR TIBOR	平成28年4月	高齢化と家族						
兼任	講師	マシバ トシタカ 的場 寿光	平成28年10月	国際化と文化						
兼任	講師	オオモリ タカシ 大森 隆	平成28年4月	陶芸と地域伝統文化						

兼任	講師	キム マチ 木村 聡	平成27年4月	情報と統計 コンピューターリテラシー II コンピューターリテラシー III						
兼任	講師	ヤマモト ナツミ 山本 なつみ	平成27年4月	英語 I	兼任	講師	カメト サヒ 亀本 真朱	平成27年4月	英語 I	就任辞退に伴う担当者の変更 (27)
					兼任	講師	キクチ ナギサ 菊池 渚	平成27年4月	英語 I	就任辞退に伴う担当者の変更 (27)
兼任	講師	ウメコ コウコ 梅木 祐子	平成27年4月	英語 I						
兼任	講師	ヘミッシュ ビジョン Hamish Pidgeon	平成28年4月	英語 II						
兼任	講師	ファンゴア ティル ダニエル Fangohr Till Daniel	平成28年4月	ドイツ語						
兼任	講師	テイ ケイコ 鄭 恵芳	平成28年4月	中国語						
兼任	講師	イ ユノ 李 允昊	平成28年4月	韓国語	兼任	講師	ノ ヘヨン 魯 惠英	平成28年4月	韓国語	就任辞退に伴う担当者の変更 (27)
兼任	講師	オカワ ジャックリネ 大河 ジャックリネ	平成28年10月	スペイン語						
兼任	講師	キナカ コウキ 北中 佑樹	平成27年4月	情報処理論						
兼任	講師	ヨシヅキ ユウスケ 米沢 雄介	平成27年4月	コンピューターリテラシー I	兼任	講師	ムキ ユウタ 村木 祐太	平成27年4月	コンピューターリテラ シー I	就任辞退に伴う担当者の変更 (27)
					兼任	講師	フジワラ トシヒサ 藤原 稔久	平成27年10月	コンピューターリテラ シー I	カリキュラム充実のため担当者追加 (27)
兼任	講師	アライ キョウコ 新井 喜代加	平成28年4月	スポーツ法学						
兼任	講師	タカマツ ヤスシ 高松 靖	平成27年4月	器械運動						
兼任	講師	キタガワ サブロー 北川 三郎	平成28年4月	剣道	兼任	講師	オス ジュンイチ 乙須 純一	平成28年4月	剣道	就任辞退に伴う担当者の変更 (27)
兼任	講師	キナチ ヒロキ 菊池 洋也	平成27年10月	テーピングマッサージ法						
兼任	講師	カタガチ ケン 片瀬 建	平成27年10月	テーピングマッサージ法 アスレティックトレーナー 特別講座(2) アスレティックトレーナー 実習 I						
兼任	講師	キヌカワ フミ 衣川 二三	平成29年4月	キャリア英語 I キャリア英語 II キャリア英語 III						
兼任	講師	シバスマ マコト 柴沼 真	平成29年10月	教師論				平成27年4月	教職入門	届出時には就任予定年月と担当科目名 を誤記載

兼任	講師	ナジマ ケ 中島 千恵	平成29年4月	教育制度論							
兼任	講師	セキグチ ヨウヘイ 関口 洋平	平成28年10月	生涯教育論							
兼任	講師	ヤマモト ナホ 山本 直子	平成29年10月	特別活動論							
兼任	講師	カネコ マリコ 金子 真理子	平成29年10月	教育相談							
兼任	講師	サトウ アキコ 佐藤 明子	平成28年4月	福祉と介護 特別支援教育論							

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇)学部 △(学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
18	13	6	4	41	17	14	4	5	40	65	1	—	—
(17)	(14)	(4)	(5)	(40)	[△1]	[1]	[△2]	[1]	[△1]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「—」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	高橋 正行	一身上の都合により就任辞退（27）
2	教授	村田 正夫	学校法人大阪成蹊学園が設置する大阪成蹊大学へ転任のため就任辞退（27）
3	講師	南島 永衣子	一身上の都合により就任辞退（27）
4	講師	片上 千恵	一身上の都合により就任辞退（27）

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退任した教員の補充については可能な限り迅速に対応しており、後任が就任するまでの間も必要であれば、非常勤講師の雇用をして本学の教育に影響がないよう配慮している。学生への周知は、履修ガイダンスを通して、学部長等から今後の履修や、授業についての連絡を行い、学生に不安や不利益が生じないように十分に留意している。

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (年月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (年月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (年月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<スポーツ学部 スポーツ学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教員の資質の向上と教育の活性化のため、専任教員若干名と教務課長(事務系)で構成する常設のファカルティ・ディベロップメント(FD)専門委員会を設置している。</p> <p style="text-align: center;">びわこ成蹊スポーツ大学教務委員会ファカルティ・ディベロップメント(FD)専門委員会規程 平成21年4月1日制定</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この規程は、びわこ成蹊スポーツ大学教務委員会規程第8条の規定に基づき、びわこ成蹊スポーツ大学に置くファカルティ・ディベロップメント(FD)専門委員会(以下「委員会」という。)の組織、運営等に関し、必要な事項を定める。</p> <p>(審議事項)</p> <p>第2条 委員会は、次の事項を審議し、学長に意見を述べることできる。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) FD活動の基本方針に関すること。(2) FD活動の企画及び立案に関すること。(3) FD活動の実施及び結果の公表に関すること。(4) FD活動に関する情報の収集と提供に関すること。(5) その他FDに関連すること。 <p>(組織)</p> <p>第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 教務委員会委員長が指名する教務委員会委員 若干名(2) 教務課長 <p>2 委員会に議長を置き、委員の中から学長が指名する。</p> <p>(任期)</p> <p>第4条 前条の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p>2 前項の委員は、再任することができる。</p>

(会議)

第5条 委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

2 委員会の議事は、出席議員の過半数によって決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第6条 委員会は、必要に応じ、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 委員会の事務は、教務課において処理する。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の審議を経て学長が別に定める。

第9条 委員会において、教務委員会での審議が必要と決めた事項は、教務委員会に委ねるものとする。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成24年1月25日）

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成26年11月20日）

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD専門委員会は平成26年度は9回開催し、委員会は教員4名と教務課長（事務系）の5名で構成し、ほぼ全員が参加している。

c 委員会の審議事項等

FD専門委員会は、FD活動の基本方針の策定、FD活動の企画及び立案、FD活動の実施及び結果の公表、FD活動に関する情報の収集と提供等に関して審議を行っている。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 成績評価基準の設定
- ・ 授業評価アンケートに関する取り組み。
- ・ 教員の質保持に関する取り組み
- ・ びわこ成蹊スポーツ大学ポリシーの検討

b 実施方法

上記の取り組みは、FD専門委員会で審議し、教務委員会、教員会議で報告のうえ、FD専門委員会が実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD専門委員会主催の研修会は、平成26年度は実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業アンケート結果のフィードバックを実施し、教員の業務支援や業績評価に結びつける仕組みを作る検討をした。

今後も教員相互の授業参観を活性化させるとともに、教員の更なる能力開発に役立つ研修会を実施する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 授業評価アンケートは、昨年同様の情報システム（Saa i -M a s）を利用し、各学期の中間・期末の計4回実施し、教務課がデータの集計を行い、委員が調査結果をまとめた。

b 教員や学生への公開状況、方法等

調査結果を公開し、26年度分については、個人名を伏せ科目名のみを表示する形で教員にフィードバックした。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
平成26年9月の届出の受理により、びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部スポーツ学科は、学生募集を行い、平成27年4月に発足することが出来た。その総括評価・所見は以下のとおりである。
- 本学は、平成15年4月に1学部2学科で開設し10年余りを経過するが、その間の時代の変化と社会的要求に応え、本学のディプロマポリシー等に定めている学生に求める能力等を真に身に付けさせるためには、より柔軟なカリキュラム設定を行う必要があると判断し、2学科を廃止し新たに1学科を設置した。
- 従前の「生涯スポーツ学科」「競技スポーツ学科」の2学科編成では、生涯スポーツと競技スポーツを区分しそれぞれを専門的に学修していたが、両者はライフステージの過程でスポーツを行う人の置かれた状況や考え方の違いによるもので、スポーツの指導者を養成する大学教育として、両者を二者択一的ではなく、総合的かつ一体化したものと捉える必要があると考えられた。また、「生涯スポーツ学科」と「競技スポーツ学科」の2学科制の中でそれぞれの学科により専門的なコースを設置するには、どうしても矛盾があったり、説得力に欠ける点が、指摘された。
- 学生のコース選択は、特に重要で、個々の学生コース内容に対応する興味関心、担当教員や将来の進路等に基づき行われる。従前の学科編成では、例えば「スポーツマネジメントコース」は「競技スポーツ学科」に属していたが、マネジメントは、競技スポーツに限定されるものではなく、市民スポーツのイベントなどプログラムを展開する上で、すべてのスポーツの領域である。また将来体育教師を目指す学生は「生涯スポーツ学科」に属していた「学校スポーツコース」を選択するが、サッカー部等部活動の指導者となるために「競技スポーツ学科」に属していた「コーチングコース」、「スポーツ情報戦略コース」に所属する学生も多く、2学科制のため履修が制限されていた。
- 平成27年度より開設されたスポーツ学部スポーツ学科は、このような2学科制での矛盾点や不都合を解消し、本学設立時よりの本学の教育的特長を踏襲しながら、更にスポーツ学部での学びを充実させるとも考えている。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
- ・平成26年7月16日 公表
- b 公表方法
- ・自己点検・評価報告書を刊行し、文部科学省、評価機構、関係大学、教職員等に配布。
 - ・大学ホームページ上に公開（平成26年8月1日）
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・平成28年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年10月予定)